

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所、幼稚園、小学校の連携						掲載ページ		
							95		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		563	千円	682	千円	施策名	就学前教育	担当課	子ども家庭政策課 保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	子どもを取り巻く社会環境が大きく変化し、小学校入学時に授業中に座ってられない、教師の話が聞けないといった事象が見られます。子どもを健やかに育てるために、保幼小間が連携して、保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図ります。					
活動計画	各保育所、幼稚園、小学校において、連携の窓口となる担当者を1名設定し、地域ごとの子どもや職員の交流等を通じて保育所、幼稚園、小学校の円滑な接続を図ります。また、関係団体の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」での意見を踏まえ、連携の意義を啓発する「保幼小連携研修会」を実施するなど、保幼小連携の質の向上と全市への拡大を図ります。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	93.5 %	100 %	97 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保幼小連携事業を実施することにより、保育環境から学習環境への円滑な接続を図りたいと考えています。そのため、保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合を指標にしました。 (最終目標と最終年度)平成26年 全園			97.0 %			
	連携についての啓発研修会・講演会の参加人数	467 人	—	541 人	順調	順調	
	研修会等で啓発をし、連携の必要性についての意識を高め、連携事業の実施に結び付けたいと考えています。そのため、研修等の参加人数を指標に設定しました。			やや遅れ			
					遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		保育所、幼稚園、小学校の関係団体の代表者で構成された「保幼小連携推進連絡協議会」を2回開催し、今後の連携の方向性に関して議論を行いました。また、市内の保育所、幼稚園、小学校の管理職・連携担当者が一同に会する研修会の実施や、各保育所・幼稚園・小学校において、幼児・児童の交流活動や職員間の合同研修などの取組みを継続して行うなど、連携の意義の啓発、意識の向上を図ることができました。さらに、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、保育所児童保育要録や幼稚園幼児指導要録を作成・活用し、保育所・幼稚園から小学校へ教育に必要な情報を伝達しました。以上のことから、順調と判断しました。
		各保育所、幼稚園、小学校のそれぞれの既存事業の中で、幼児・児童の交流活動や職員間の合同研修を行うなど、事業の効率化を計っています。また、各保育所、幼稚園、小学校へ関係書類を配布する際には、できる限り関係団体や研修の機会などを通じて行うなど、経費の節減に努めました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
各保育所、幼稚園、小学校に設置した連携担当者名簿や保幼小連携プログラム(つながる)の更なる活用を促すとともに、保幼小連携啓発研修や保育所、幼稚園、小学校への情報伝達体制の充実など、連携事業の一層の推進を図っていきます。また、研修会についても、「保幼小連携推進連絡協議会」における意見などを踏まえ、実施方法を改めて検討するなど、連携の質の向上と全市への拡大を図っていきます。